

共 濟 保 險 研 究 十一月号目次

(目次 カット・田澤 八甲)

◇印南教授の帰国歓迎講演会

(口繪写真)

◇日本保険学会総会開かる

(//)

◇今日の人・東亞火災社長・橋本 保氏

(//)

◇簡保・保有二兆円を達成

(グラフ)

卷頭言・火災共済の当面の二課題 (一〇)

論 文

生保企業における製品計画 二 瓶 嘉 三 (二二)

共済の機能の形態についての覚書 馬 伏 太 一 (二五)

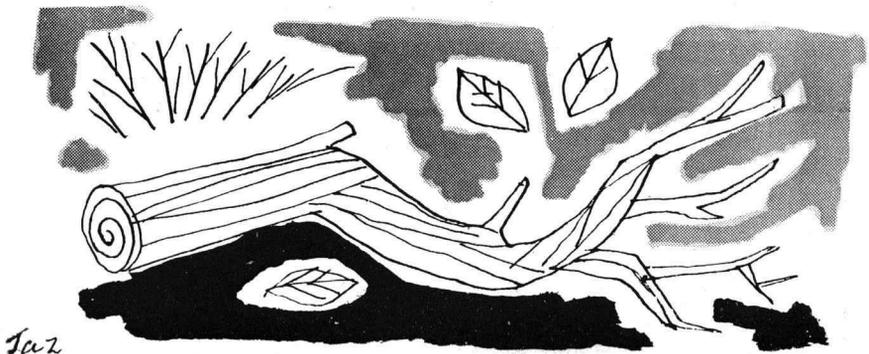
―建物共済を中心として―

広告管理とマーケティング(中) 小 川 清 記 (六一)

―N・H・ポードン教授(ハーバード大学)のセミナーから―

疑 答 保険監督の必要と功罪 (四三)

質 応 高額契約の保険料割引 (九六)



1927

史料・資料

協同組合保険と先駆者賀川豊彦 (四) 山崎勉治 (七三)
 保険の経営と用語 (五) 坂井幸二郎 (八八)

座談会……(四四)

生保の募集

共済の推進

<出席者>

郎次雄男
 一 豊勝松
 俊 野倉山
 場 蚊
 馬 蚊 浅秋

こんごはいかにあるべきか

笠原長壽訳 (九四)

庭田範秋 (九五)

刊 介
 新 紹

ソ連邦の保険
 保険経済学序説

望
 ▽国崎「生命保険」に経済図書文化賞

▽全生保の定期大会終る

▽総評加盟見送り全損保大会

▽日火連・火災共済事業の強化を要望

▽住宅金融公庫の火保特約問題

展
 海外トビツク・ニューヨークライフの教育生命保険

統計表

編集後記

(八七)
 (一〇三)
 (一〇四)